

令和6年度 栗ガ丘小学校グランドデザイン



のびゆく像

一 幼保小中一貫教育の推進

「エージェンシーの育成」を共通理念とし、3歳の入り口から15歳の出口まで一貫した教育課程で子どもたちの成長を支えます。幼保・中学校との連携交流活動を充実させていきます。

一 小布施町が目指す子ども像

- 1 めまぐるしく変化する国際社会を生き抜くたくましさがある子ども
- 2 家族・仲間・故郷を愛し、ふるさと小布施に誇りが持てる子ども
- 3 心身ともに健康である子ども

一 学校教育目標

自ら学び 共に伸びゆく子ども

～豊かな心とたくましい体を育んで～

- ①基礎学力を身につけ、
- ②互いに認め合いながら自らの可能性を伸ばし、
- ③活動に浸り込む活力ある子どもを育む。

本年度の重点課題

ひと・もの・こととのかかわりを広げ、主体性を育む

家庭・地域と連携して児童一人ひとりを大切にした教育活動を推進する。

一 学校経営方針

どの子どもも喜んで登校する「安心・安全な楽しい学校」
それを支える全教職員の団結力・同僚性
「チーム栗小」

一 子どもの実態

素直な児童が多い
興味・関心のある活動は意欲的体を動かすことが好き
自分で考えて行動する力が少しずつ伸びてきている

キーワード **「エージェンシー」** ～自ら考え、主体的に責任をもって行動する力～

本年度の全校研究テーマ

エージェンシーを発揮していく子どもと教師

学びづくり (知)

何を学んでどう学ぶのか、ねらいをはっきりさせ、「できた」「わかった」喜びを実感できる学びをつくります。

- 1 「主体的・対話的で深い学び」を具現化した授業を構築します。
 - 単元を貫く学習問題のある単元構想を大切にします。
 - 子どもが思わず「やりたい」「調べたい」「つくりたい」となるような素材の教材化に努めます。
 - ICTを積極的に活用します。
- 2 基礎・基本、思考・表現・判断の力を付けるため一人1台タブレットの活用や学習ノート、板書を工夫します。
- 3 すべての学級で「探究的な学習」に取り組みます。

心づくり (徳)

郷土を育む「ふるさと学習」、人間性を醸成する道徳・人権教育を大切に、**自己肯定感を高め、豊かな心**をつくります。

- 1 生活に根ざした学習を推進し、「ふるさとを大切にしようとする心」を育てます。
- 2 歌声やあいさつを通して、心のつながりを深めます。
- 3 毎日の清掃活動を通して、「働くことの尊さ」を実感できる子どもを目指します。
- 4 本に親しみ、知識を広げ、情緒の豊かさを育てていきます。
- 5 多様な人との交流や本物に触れることを通して、自分の在り方・生き方を見つめる場をもちます。

体づくり (体)

正しい体の使い方を身につけるとともに、**体力・健康づくりの習慣化を図りたくましくしなやかな体**をつくります。

- 1 「栗小体操」「ジャックナイフストレッチ」(柔軟性)等を毎日行うとともに、外遊び等を通して基礎的な体づくりをします。
- 2 運動能力、体力、体幹を分析し、成果や課題を体づくりに生かします。
- 3 子どもが夢中になって取り組める運動・遊びを通して、体力・身体表現力を高めます。

学力向上プラン

1 授業改善や学力向上を目指す取組

- 授業3観点「ねらい」「めりはり」「見とどけ」の質の向上
- タブレットやみらいスクール・デジタル教科書を存分に活用したわかりやすい授業
- ドリルの時間の効果的な運用
- 授業とリンクした家庭学習の充実

2 授業改善や学力向上の評価検証

- 単元テスト、学力テスト(ベネッセ)、全国学力学習状況調査等、児童アンケートの結果分析
- 「できた」「わかった」喜びをより実感する『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善
- 教職員が授業実践を見合い、互いに学び合いながら進める児童理解・教材研究

のびゆく(総合的な学習の時間)

～大切にすること～

- 子どもの興味・関心をもとに展開する
- 子どもの思いを丁寧に捉え、自己決定を大事にする
- 生活科や様々な教科等と関連付ける
- ふるさと小布施(人、もの、こと)に積極的にかかわり、小布施のことを学ぶ
- SDGsの視点で、学びや教育活動の目的・意義を見直す

～R5年度の学級・学年の実践～

- 3年 「小布施地域探検」
- 4年 「小布施丸ナス」
- 5年 「田植え・稲刈り」「弾季舞」「正則小との交流」
- 6年 「北斎巴錦」「落葉を活用した腐葉土づくり」「正則小との交流」

連携

- 1 幼保小中一貫教育
- 2 PTA活動
- 3 小布施学園コミュニティスクール(学校応援ボランティア)等

特別支援教育

- 1 一人一人のニーズに対応した教育(多様性の尊重)
- 2 児童の居場所を大切に、安心して生活できる環境の整備
- 3 通級指導教室、須坂支援学校等との連携

各種研修

- 1 非違行為防止研修
- 2 人権同和教育や特別支援教育の研修
- 3 ICTの活用や信州型UDについての研修